

令和3年度 維持管理の状況 (廃棄物処理法第9条の3第6項)

岸和田市貝塚市クリーンセンター

○処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量 (t)

種類	月	1号炉	2号炉	3号炉
可燃ごみ	4月	2,960.96	3,861.76	276.17
	5月	0.00	0.00	4,837.21
	6月	0.00	3,693.69	4,499.83
	7月	0.00	4,779.95	1,712.74
	8月	0.00	4,880.36	3,928.29
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			

○燃焼室中の燃焼ガスの温度 (°C)

測定を行った位置	月	1号炉	2号炉	3号炉
焼却炉	4月	955	940	958
	5月	停止中	停止中	951
	6月	停止中	968	955
	7月	停止中	948	960
	8月	停止中	948	960
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			

※測定の結果の得られた年月日は、当該月の翌月の1日

※測定の結果は、連続測定における日平均の月平均であり、炉の立上げ、立下げ、停止日は含まない

○集じん器に流入する燃焼ガスの温度 (°C)

測定を行った位置	月	1号炉	2号炉	3号炉
減温塔出口	4月	187	180	176
	5月	停止中	停止中	181
	6月	停止中	175	181
	7月	停止中	181	183
	8月	停止中	187	181
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			

※測定の結果の得られた年月日は、当該月の翌月の1日

※測定の結果は、連続測定における日平均の月平均であり、炉の立上げ、立下げ、停止日は含まない

○煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度 (ppm) 酸素濃度12%換算値

測定を行った位置	月	1号炉	2号炉	3号炉
煙突	4月	0	0	1
	5月	停止中	停止中	1
	6月	停止中	0	0
	7月	停止中	0	0
	8月	停止中	0	2
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			

※測定の結果の得られた年月日は、当該月の翌月の1日

※測定の結果は、連続測定における日平均の月平均であり、炉の立上げ、立下げ、停止日は含まない

○冷却設備及び排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去

除去位置	除去年月日（焼却炉停止中）	
冷却設備及び 排ガス処理設備	1号炉	令和3年5月26日～6月1日
	2号炉	令和3年5月25日～6月3日
	3号炉	令和3年7月22日～7月29日

※焼却炉運転中の冷却設備（過熱器）については、ストブローで周期的に除去

※焼却炉運転中の排ガス処理設備（バグフィルタ）については、エアパルスで周期的に除去

○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度（ng-TEQ/m³N）

排ガスを採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定の結果	
煙突	1号炉			
	2号炉	令和3年7月2日	令和3年8月3日	0.000056
	3号炉	令和3年5月24日	令和3年6月22日	0.000014

○煙突から排出される排ガス中の硫黄酸化物排出量（m³N/h）

排ガスを採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定の結果	
煙突	1号炉			
	2号炉	令和3年7月2日	令和3年7月26日	0.0097
	3号炉	令和3年5月24日	令和3年6月21日	0.0071

○煙突から排出される排ガス中のばいじん濃度（g/m³N）酸素濃度12%換算値

排ガスを採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定の結果	
煙突	1号炉			
	2号炉	令和3年7月2日	令和3年7月26日	<0.0006
	3号炉	令和3年5月24日	令和3年6月21日	<0.0006

○煙突から排出される排ガス中の塩化水素濃度（mg/m³N）酸素濃度12%換算値

排ガスを採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定の結果	
煙突	1号炉			
	2号炉	令和3年7月2日	令和3年7月26日	1
	3号炉	令和3年5月24日	令和3年6月21日	1

○煙突から排出される排ガス中の窒素酸化物濃度（ppm）酸素濃度12%換算値

排ガスを採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定の結果	
煙突	1号炉			
	2号炉	令和3年7月2日	令和3年7月26日	21
	3号炉	令和3年5月24日	令和3年6月21日	1

※ng（ナノグラム）＝10億分の1g

TEQ…毒性等量と言いい、ダイオキシン類には異性体（構造が異なるもの）が多く存在し、それぞれ毒性の強さが異なる。ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ダイオキシンの毒性を1として、それぞれの異性体の毒性を2,3,7,8-TeCDDに換算して合計したもの。

m³N…摂氏0℃、1気圧の状態に換算した気体の体積